

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成 11 年法律第 117 号)
(以下「PFI 法」という。) 第 7 条第 1 項の規定に準じて、(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・
運営事業を実施する民間事業者を選定しましたので、同法第 8 条の規定に準じて、客観的な評価
の結果を審査講評として公表します。

平成 24 年 8 月 23 日

新潟市長 篠田 昭

(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業

審査講評

平成 24 年 8 月 23 日

(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業事業者選定委員会

(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業（以下「本事業」という。）に関して、民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置しました。

平成 24 年 3 月に第 1 回選定委員会を開催して以降、入札説明書等について審議を重ねるとともに、応募グループの事業提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、落札者を決定しました。

本審査講評は、選定委員会におけるこれまでの審議・審査の過程と審査の結果について公表するものです。本事業では、最終的に 1 グループを対象に審査を行いました。

参加していただいたグループに対して、心より感謝申し上げます。

平成 24 年 8 月 23 日

(仮称) 新潟市アイスアリーナ整備・運営事業事業者選定委員会

委員長	山口 直也
委員	菅原 晃
委員	鈴木 恵一
委員	渡部 沖広
委員	長谷川 美香
委員	野本 修
委員	遠藤 良博
委員	村上 浩世
委員	木村 勇一

目 次

第 1	事業の概要	1
第 2	審査の方法	3
第 3	選定委員会の開催及び審議・審査の経緯	10
第 4	審査結果	11
第 5	財政負担額の削減率	19
第 6	総評	20

第1 事業の概要

1 事業名

(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業

2 事業場所

新潟市中央区鐘木 257 番 9 外

3 事業期間

- ・設計・建設期間：平成 24 年 10 月（特定事業契約締結日）から平成 26 年 1 月 31 日まで
- ・維持管理・運営期間：平成 26 年 2 月 1 日から平成 41 年 3 月 31 日まで

4 施設内容及び面積

- ・主な施設内容
 - メインリンク（30m×60m：国際競技規格）
一般滑走，フィギュアスケート，アイスホッケー，ショートトラックに対応
 - サブリンク（カーリング 3 レーン相当）
カーリング，フィギュアスケートの練習に対応
- ・面積
 - 敷地面積：約 10,000 m²
 - 延床面積：約 5,500 m²

5 事業目的

本事業は，市民の健康増進に寄与し，フィギュアスケート，アイスホッケー，ショートトラック，カーリングなどの氷上競技の普及・振興を目的とするとともに，スポーツを軸とした市民の交流，地域の活性化を促進し，氷上競技における日本海側の拠点施設として，スポーツ文化の醸成，市外からの交流人口の拡大を図ることを目的とします。

6 事業概要

本事業における施設の整備及び運営は DBO（Design：設計，Build：施工，Operate：運営）方式により実施します。

事業者として選定された企業グループ（以下「民間事業者」という。）は特別共同企業体（以下「建設請負事業者」という。）を設立し，（仮称）新潟市アイスアリーナ（以下「本施設」という。）の設計及び建設を行います。

さらに，民間事業者は，特別目的会社を設立し，15 年 2 カ月間の維持管理・運営期間にわたって，本施設の維持管理及び運営に係る業務を行います。

7 事業範囲

(1) 設計・建設期間

- ① 設計業務
- ② 建設業務
- ③ 試運転業務
- ④ 什器・備品等調達・設置業務
- ⑤ 引き渡し業務

(2) 維持管理・運営期間

- ① 維持管理業務
 - ア 建築物保守管理業務
 - イ 建築設備保守管理業務
 - ウ 什器・備品等保守管理業務
 - エ 外構等保守管理業務
 - オ 衛生管理業務
 - カ 警備業務
 - キ 修繕業務
- ② 運営業務
 - ア 受付・貸出業務
 - イ リンク管理・監視業務
 - ウ アイススケート普及業務
 - エ 管理・広報業務
 - オ 送迎バス運行業務
 - カ 自主事業

なお、本事業の実施に係る光熱水費は、事業者の負担とする。

8 事業スケジュール（予定）

本事業に関する今後の主要なスケジュールは、以下のとおりです。

- | | |
|------------|-----------------|
| ①仮契約の締結 | 平成 24 年 8 月下旬 |
| ②議会の議決 | 平成 24 年 10 月上旬 |
| ③契約の締結 | 平成 24 年 10 月上旬 |
| ④施設の完工及び引渡 | 平成 26 年 1 月末 |
| ⑤供用開始 | 平成 26 年 2 月 1 日 |
| ⑥契約終了 | 平成 41 年 3 月末日 |

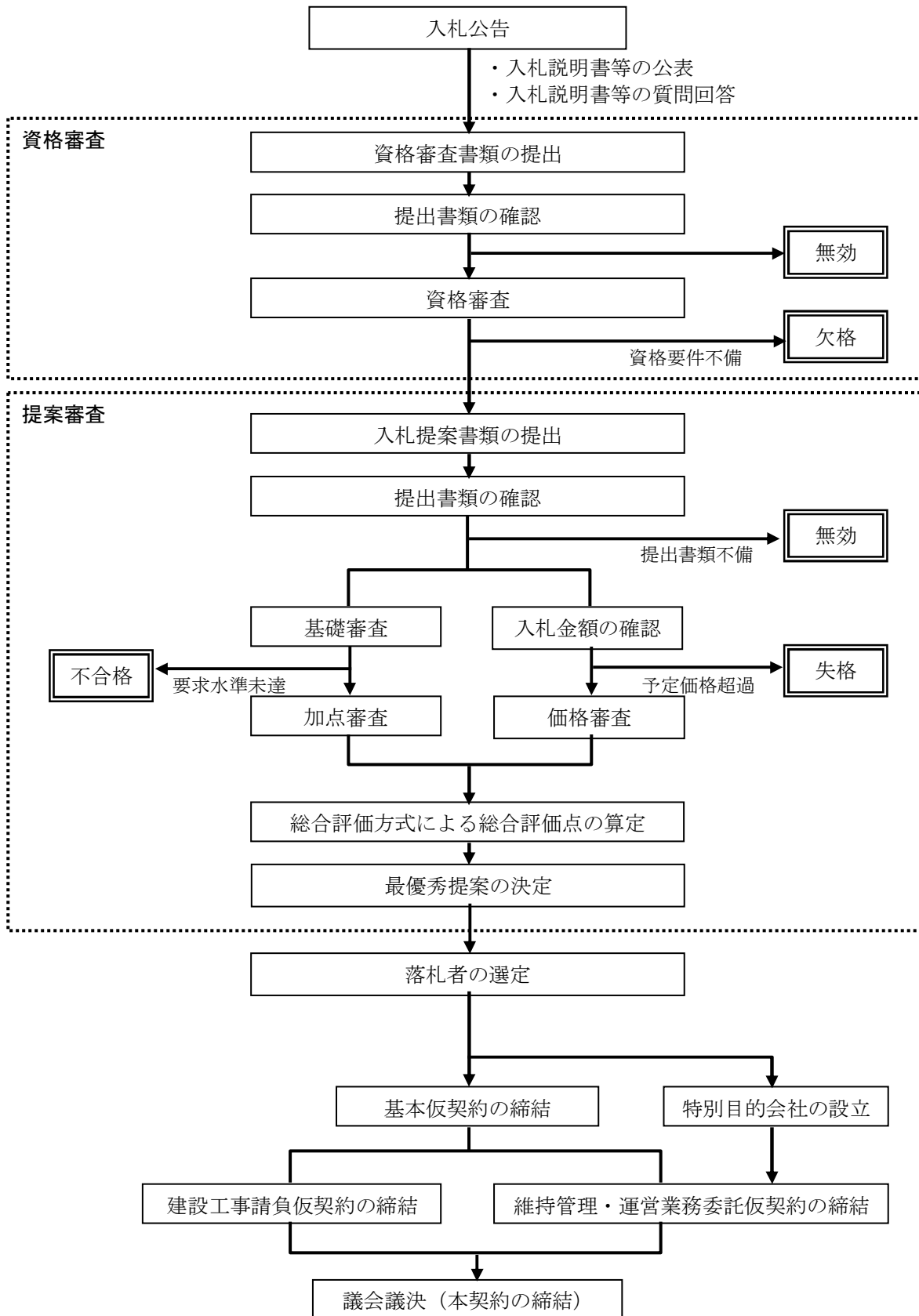
第2 審査の方法

1 審査及び契約締結までの流れ

事業者選定の方法は、公平性・透明性を確保するために、総合評価一般競争入札としました。総合評価一般競争入札による契約締結までの流れは、図表1に示します。

なお、審査にあたっては、より一層、公平性・透明性を高めるために、選定委員会に対して、各入札提案書類（設計図書、各業務提案書）の提出者が知らされない状況で行いました。

図表 1 契約締結までの流れ



2 審査体制

民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、選定委員会を設置しました。選定委員会を構成する委員は、次のとおりです。

図表 2 委員の構成

委員長	山口 直也	新潟大学 経済学部 経営学科 准教授
委員	菅原 晃	新潟大学 工学部 電気電子工学科 准教授
委員	鈴木 恵一	財団法人 日本スケート連盟 副会長
委員	渡部 沖広	新潟市スケート連盟 理事長
委員	長谷川 美香	有限会社ミカユニバーサルデザインオフィス 取締役社長
委員	野本 修	西村あさひ法律事務所 弁護士
委員	関 尚久(H24.3.31 まで) 遠藤 良博(H24.4.1 から)	新潟市 建築部長
委員	村上 浩世	新潟市 財務部長
委員	木村 勇一	新潟市 文化観光・スポーツ部長

3 資格審査

資格審査では、応募者からの資格確認書類に基づき、参加資格の確認を行いました。

4 提案審査

(1) 基礎審査

基礎審査では、要求水準書等に規定された性能要件等を満足できるか否か、事業としての妥当性を有しているかの審査を行いました。

(2) 加点審査

(1)の基礎審査を通過した入札参加者を対象に、提案内容について審査し、加点審査点を決定しました。なお、加点審査にあたっては、提案内容に関する理解を深めるため、選定委員会によるヒアリングを実施しました。

加点審査点の配点は、600点としました。以下に示す各評価項目の得点の合算を加点審査点としました。評価項目、評価項目ごとの配点、採点基準を以下に示します。

① 評価項目と配点

評価項目及び配点は図表 3 に示します。

図表3 加点審査における評価項目及び配点

評価項目		重視する点	配点
評価の視点			
1. 事業全般に関する事項			80
①事業実施体制		<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間全体を通じた構成企業の役割や責任分担，組織体制，人員配置等が明確に提案されているか。 ・事業期間全体を通じた市や関係機関，関係団体との連携体制が適切に構築されているか。 	10
②地域経済への貢献		<ul style="list-style-type: none"> ・本市における地域経済の活性化，雇用機会の創出，資材の調達等に関して，具体的に提案されているか。 	30
③独自の提案		<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体において，民間の創意工夫を生かした魅力的な提案がなされているか。 ・他の評価項目に含まれない優れた提案がなされているか。 	20
④ユニバーサルデザインへの配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備や運営における多様な利用者への対応が，一体的に提案されているか。 	20
2. 施設整備に関する事項			210
①基本的な考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命でメンテナンス性の優れた建物として計画されているか。 	20
②施設計画			
②-1 施設配置及び動線計画		<ul style="list-style-type: none"> ・建物や駐車場等の配置，人や車の安全で明快な動線計画が提案されているか。 	10
②-2 良質なアイスリンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・常に一定な水質確保のための効果的な提案がなされているか。 ・凍上対策など，駆体に悪影響を与えないための効果的な提案がなされているか。 	30
②-3 施設全体の機能性確保		<ul style="list-style-type: none"> ・アイスリンク内の温・湿度管理のための断熱性能，空調計画等の効果的な提案がなされているか。 ・施設各室及び各部位の結露防止・カビ対策等の効果的な提案がなされているか。 	30
②-4 諸室の計画		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者，管理者双方にとって機能的で使いやすい諸室が計画され，バランス良く配置されているか。 	30
③環境への配慮			
③-1 周辺環境との調和		<ul style="list-style-type: none"> ・風向などの自然条件を考慮し，周辺環境に調和した施設となっているか。 ・市民に親しみのある建物のデザインが提案されているか。 	10
③-2 省エネルギーへの取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・設備面において維持管理・運営時の省エネルギー化を図るための効果的な提案がなされているか。 ・建物全体の断熱性確保や緑化などエコリンク実現のための効果的な提案がなされているか。 	40
③-3 再生可能エネルギーの活用		<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能な自然エネルギーの積極的な活用について，具体的かつ効果的な提案がなされているか。 	20
④工程計画，施工計画		<ul style="list-style-type: none"> ・工程計画及び施工計画について，工期遵守のための適切な提案がなされているか。 ・工事中の安全確保及び周辺地域への配慮がなされているか。 	10
⑤什器・備品等の計画		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性及び諸室の機能性を向上させる適切な内容，数量，配置等の提案がなされているか。 	10

評価項目	重視する点		配点
	評価の視点		
3. 施設の維持管理に関する事項			60
①基本的な考え方	・本市が要求する維持管理の基本方針が十分に把握され、適切でより効果的な提案がなされているか。		20
②各維持管理業務の容易性	・各維持管理業務を容易にするための効果的な実施方法が提案されているか。		20
③修繕及び更新に関する業務の適切性	・アイスリンクの特殊性を踏まえ、事業期間中の施設機能を維持する、適切な修繕及び更新計画が提案されているか。 ・長期的な施設の保全計画が、時期に応じて適切に提案されているか。		20
4. 施設の運営に関する事項			150
①基本的な考え方	・創意工夫を生かして施設機能を有効活用し、長期的な視点に立った運営が提案されているか。		20
②利用及びアイススケート普及			
②-1 個人利用と専用利用	・施設利用の促進に関する効果的な計画がなされているか。 ・休館日、営業時間の設定を含め、利用者にとって適切かつ利便性が高い利用スケジュールとなっているか。		30
②-2 教室及び学校の校外活動等	・多様な利用者に対応する、各種教室の魅力的な提案がなされているか。 ・校外活動の利用を増加させる、効果的な取り組みが提案されているか。		30
②-3 競技会・イベント及び団体支援等	・競技会やイベントの魅力的な企画が、具体的に提案されているか。 ・競技団体の発足、運営の支援及び連携方法等について、効果的に提案されているか。		20
③アイスリンクの管理・監視	・アイスリンク利用者の安全確保及び事故防止に必要な、優れた対策が提案されているか。 ・適切なアイスリンク面の管理、整備に必要な、優れた対策が提案されているか。		20
④広報、誘致	・施設の利用促進を図る、積極的な広報、誘致活動が計画されているか。		10
⑤送迎バス運行	・利用者の利便性を高める、効率的な送迎バスの運行に関し、適切なルートやスケジュール、車種設定が提案されているか。		10
⑥自主事業の提案	・自主事業について、利用者の利便性を向上させる効果的な提案がなされているか。		10
5. 事業計画に関する事項			100
①想定人数・施設利用料金に対する考え方	・施設利用料金の設定、利用者数の想定について、適切な提案がなされているか。 ・施設利用者数が提案時より大幅に減少した場合の対応策が具体的かつ合理的に提案されているか。		30

評価項目		重視する点	配点
評価の視点			
②事業計画の安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な根拠をもとに、確実性があり安全かつ安定的な収支計画が提案されているか。 ・適切な資金調達及び利益分配の方針が提案されているか。 	30	
③セルフモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・契約内容や要求水準を満たす業務の実施について、自己監視する適切な体制が構築されているか。 	10	
④リスクへの対応性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業のリスクに対する認識及び具体的かつ効果的な対応策が明確になっているか。 ・適切なリスク管理体制が構築されているか。 	30	
		合計	600

② 評価項目の採点基準

各評価項目において、次に示す 5 段階により評価し点数化しました。

図表 4 採点基準

評価	判断内容	採点の算出方法
A	特に優れている	配点×100%
B	かなり優れている	配点× 75%
C	優れている	配点× 50%
D	やや優れている	配点× 25%
E	要求水準を満たす程度	配点× 0%

(3) 予定価格

市は、予定価格を次のとおり設定しました。

予定価格 2,123,809,000 円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）

(4) 価格審査

(3)に示す予定価格を超過していない入札価格に対し、落札者決定基準に定める価格審査点算定式により価格審査点を算定しました。

価格審査点の配点は、400 点としました。最低入札価格となった応募者の価格審査点を 400 点とし、他の応募者の得点を、最低入札価格と当該応募者の入札価格の割合から算出する、以下の算式により算定しました。

$$\text{価格審査点} = \text{配点} \times (\text{最低入札金額} / \text{入札金額})$$

(5) 落札者の決定

(2)で決定した加点審査点と(4)で決定した価格審査点を加えて総合評価点を算出し、最も高い点数の者を「落札者」としました。

第3 選定委員会の開催及び審議・審査の経緯

年月日	内容
平成24年3月21日(水)	◆第1回選定委員会 (設置要綱, 事業概要, 落札者決定基準(案), 加点審査の審査方法)
平成24年4月10日(火)	◆第2回選定委員会 (落札者決定基準(案), 加点審査の審査方法)
平成24年4月16日(月)	入札公告, 入札説明書等の公表
平成24年4月20日(金) ～4月24日(火)	入札説明書等に関する質問書の受付
平成24年5月9日(水)	入札説明書等に関する質問への回答公表①「資格審査関係」
平成24年5月15日(火)	入札説明書等に関する質問への回答公表②「全回答」
平成24年5月16日(水)	資格審査申請書類の受付
平成24年5月22日(火)	資格審査結果通知
平成24年6月1日(金)	対話の実施
平成24年6月29日(金)	入札提案書類の受付
平成24年7月17日(火)	◆第3回選定委員会 (資格審査・対話・基礎審査報告, 加点審査(個別審査), ヒアリング項目)
平成24年7月26日(木)	◆第4回選定委員会 (民間事業者へのヒアリング, 加点審査, 価格審査(開札含む), 総合評価)
平成24年7月27日(金)	落札者の決定
平成24年7月31日(火)	落札者の公表

第4 審査結果

1 資格審査

図表 5 に示す応募グループから入札参加資格申請があり、当該グループが入札参加資格要件を満たしていることを確認しました。

図表 5 応募者一覧

代表企業	構成企業（代表企業除く）	
株式会社 パティネレジャー	構成員	株式会社 福田組 株式会社 加賀田組 新潟支店 株式会社 INA 新建築研究所
	協力企業	蜂谷工業 株式会社

2 提案審査

資格審査を通過した応募グループから、入札書類が提出されました。
当該応募グループに対して、以下のとおり提案審査を実施しました。

(1) 基礎審査

当該応募グループの提案内容が基礎審査項目を充足していることの審査を行いました。
その結果、当該応募グループはすべての要件に適合していると確認されました。

(2) 加点審査

加点審査は、評価項目ごとに選定委員が採点する方法により実施しました。
加点審査にあたり、ヒアリングを次のとおり実施しました。

実施日：平成 24 年 7 月 26 日（木）

会場：新潟市役所

実施要領：質疑 50 分間程度

評価項目ごとの講評を図表 6 に示します。

図表 6 加点審査の講評

評価項目	講評 (評価できる事項○, 要望事項△)
評価の視点	
1. 事業全般に関する事項	
①事業実施体制	○ 構成員の責任分担が明確である。 ○ 信頼できる実績を所有する企業により構成されたグループである。 △ 災害時の関係機関との連携及び平時の避難訓練について建設的に提案してほしい。 △ 民間事業者ならではのホスピタリティを十分行ってほしい。
②地域経済への貢献	○ 地元建設企業 2 社による建設業務実施が提案されている。 ○ 地元発注額等が具体的に提案されており一定程度の地域経済への波及が確実と考えられる。 ○ パートから正社員への登用が提案されている。
③独自の提案	○ 国内初の液化 CO2 システムの導入が提案されている。同システムにはリスクもあるが、新しいものへの挑戦が感じられる。
④ユニバーサルデザインへの配慮	○ ハード面の対応は具体的な提案がされている。 △ 運営が円滑にできるような、ソフト面やサービス等の総合的な検討を行ってほしい。

<table border="1"> <tr> <th data-bbox="213 237 555 286">評価項目</th> </tr> <tr> <th data-bbox="213 286 555 344">評価の視点</th> </tr> </table>	評価項目	評価の視点	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="555 237 1402 344">講評 (評価できる事項○, 要望事項△)</th> </tr> </table>	講評 (評価できる事項○, 要望事項△)
評価項目				
評価の視点				
講評 (評価できる事項○, 要望事項△)				
2. 施設整備に関する事項				
①基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先行施設での反省を踏まえた精査された提案で, 他施設に比べ使い勝手やメンテナンスに配慮がうかがえる。 ○ 自然エネルギーを取り入れた姿勢が評価できる。 △ 「長寿命でメンテナンス性に優れた建物」に関して, 具体的に検討してほしい。 			
②施設計画				
②-1 施設配置及び動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諸室の配置について更なる検討の必要性は感じるが, 限られた面積の中で, 諸室や観客席が適切に確保されている。 △ サブリンクからトイレへの動線は, 今後の精査の上, 対応を検討してほしい。 			
②-2 良質なアイスリンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国内初の液化CO₂冷却システムの導入など, ノウハウを生かした最先端システム, 厳しい管理精度が提案されている。 △ 液化CO₂冷却システムの劣化リスクについては, 十分に考慮してほしい。 			
②-3 施設全体の機能性確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 結露・カビ対策が適切に講じられている。 ○ 先行施設における反省を生かした対処が提案されていると感じられる。 			
②-4 諸室の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諸室がバランスよく配置されている。 			
③環境への配慮				
③-1 周辺環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風向への考慮, 近隣への配慮, 緑化への努力が見られる。 △ 太陽光パネルがほぼ全面に設置されていることにより, 暗い雰囲気とならないように, 景観上の配慮をしてほしい。 △ 緑化による周辺農家への影響が出ないように留意してほしい。 			
③-2 省エネルギーへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建築環境総合性能評価のAランク相当の提案が評価できる。 △ リンク自体のエネルギー使用量の削減には効果が見られるが, 施設全体としての省エネルギーに努めてほしい。 			
③-3 再生可能エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光パネルの角度が浅く効率的ではないが, 再生可能エネルギーの積極的な活用に取り組んでいる。 			
④工程計画, 施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 短い建設期間の中において, 整備可能な工程計画が提案されていて評価できる。 			
⑤什器・備品等の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市所有備品以外に特別な機材を事業者で調達し, 管理することが評価できる。 △ 自動改札システムについては, 現段階ではトラブルも多く, 不安が残る。人による対面対応も検討してほしい。 			

評価項目		講評 (評価できる事項○, 要望事項△)
評価の視点		
3. 施設の維持管理に関する事項		
①基本的な考え方	○ 基本的なことを着実にを行う考えが評価できる。	
②各維持管理業務の容易性	○ 保守・結露対策・日常点検に対して, 具体的に考えられている。 △ 人的な対応及び業務の容易性について, 具体的に提案してほしい。	
③修繕及び更新に関する業務の適切性	○ 設備の更新計画が具体的に示され, 事業期間内に計画的に実施される提案となっている。	
4. 施設の運営に関する事項		
①基本的な考え方	○ 創意工夫を生かした施設の有効活用, 長期的視点に立った運営が計画されている。	
②利用及びアイススケート普及		
②-1 個人利用と専用利用	○ 休館日なしの通年 24 時間運営が評価できる。 △ 収益性を考えると, イベントタイムの実施も必要であろうが, ジュニア競技者の練習時間への配慮も考えてほしい。	
②-2 教室及び学校の校外活動等	○ スケート教室等の内容にノウハウが見られる。 △ 教室スタッフの確保, 障がい者への対応には十分に配慮してほしい。	
②-3 競技会・イベント及び団体支援等	○ イベント等の企画について, 利用者の裾野を広げる提案が評価できる。 △ 競技者の練習時間の確保には十分に配慮してほしい。 △ イベントについては, 事業者, 市, 関係競技団体で, 定期的に協議しながら検討してほしい。	
③アイスリンクの管理・監視	○ 管理・監視についてノウハウを踏まえた提案が評価できる。 △ 安全対応, 緊急対応に十分配慮してほしい。	
④広報, 誘致	△ 新しい手段を用いた効果的な広報, 誘致活動や, 関係団体との連携について具体的に提案してほしい。 △ 効果の高い広報・誘致活動等の利用促進方法を検討し, 取り組んでほしい。	
⑤送迎バス運行	○ 運行頻度は非常に評価できる。 △ 施設利用者以外の利用防止策を適切に講じてほしい。 △ 送迎バス利用の十分な周知を図り, バス自体の広告塔としての積極的な活用を検討してほしい。	
⑥自主事業の提案	△ 目新しい提案がなく, 今後の運営を行っていく中で優れたアイデアがあれば, 積極的に取り組んでほしい。	

評価項目		講評 (評価できる事項○, 要望事項△)
評価の視点		
5. 事業計画に関する事項		
①想定人数・施設利用料金 に対する考え方	○ 確実な運営を念頭に、利用の想定人数を少なく見込んでいることを評価する。 △ 人口減少等も考慮した、明確な根拠による想定人数の検討を行ってほしい。 △ 料金設定については、今後検討の必要性を感じるため、市と事業者で十分協議してほしい。	
②事業計画の安定性	○ 運営企業に実績があり、ノウハウを踏まえた事業計画となっている。 △ 利用料金収入や売電収入等が想定よりも低かった場合の対応を十分に検討してほしい。 △ EIRRは適正であるが、提案された資本金の額が要求水準で定めた最低金額であることを考慮すると、運営開始後、追加出資を準備するなど、事業運営に係るリスクについて具体的な対策を検討してほしい。	
③セルフモニタリング	△ セルフモニタリングの意義を認識し、継続的な改善に向けた具体的な取り組みの方向性を明確にしてほしい。	
④リスクへの対応性	△ 財務リスク管理の視点を持ち、リスクを自ら管理する姿勢で事業期間全体に臨んでほしい。 △ 付保する保険を明確に提案してほしい。	

加点審査の結果を図表 7 に示します。

図表 7 加点審査結果

評価項目	評価の視点	配点		得点		
				代表企業： (株)パティネレジャー		
1. 事業全般に関する事項	①事業実施体制	10	80	5.0	52.5	
	②地域経済への貢献	30		22.5		
	③独自の提案	20		15.0		
	④ユニバーサルデザインへの配慮	20		10.0		
2. 施設整備に関する事項	①基本的な考え方	20	210	10.0	127.5	
	②施設設計画	②-1 施設配置及び動線計画		10		7.5
		②-2 良質なアイスリンクの確保		30		22.5
		②-3 施設全体の機能性確保		30		22.5
		②-4 諸室の計画		30		15.0
	③の環境配慮へ	③-1 周辺環境との調和		10		5.0
		③-2 省エネルギーへの取り組み		40		20.0
		③-3 再生可能エネルギーの活用		20		15.0
	④工程計画, 施工計画	10		5.0		
⑤什器・備品等の計画	10	5.0				
3. 施設の維持管理に関する事項	①基本的な考え方	20	60	10.0	30.0	
	②各維持管理業務の容易性	20		10.0		
	③修繕及び更新に関する業務の適切性	20		10.0		
4. 施設の運営に関する事項	①基本的な考え方	20	150	10.0	82.5	
	②利用及び普及	②-1 個人利用と専用利用		30		15.0
		②-2 教室及び学校の校外活動等		30		22.5
		②-3 競技会・イベント及び団体支援等		20		10.0
	③アイスリンクの管理・監視	20		10.0		
	④広報, 誘致	10		2.5		
	⑤送迎バス運行	10		7.5		
	⑥自主事業の提案	10		5.0		
5. 事業計画に関する事項	①想定人数・施設利用料金に対する考え方	30	100	7.5	27.5	
	②事業計画の安定性	30		7.5		
	③セルフモニタリング	10		5.0		
	④リスクへの対応性	30		7.5		
合計		600		320.0		

(3) 価格審査

価格審査に先立ち、入札に参加した1グループ立会いのもと、入札書の開札を行いました。

その結果、当該グループの入札価格が、予定価格の範囲内であること及び事業計画書と整合していることを確認しました。

落札者決定基準に基づき、入札参加者より提出された入札価格について得点化を行いました。その結果、図表8のとおりとなりました。

図表8 価格審査結果

入札参加者 (代表企業)	配点	入札価格(円) (消費税抜き)		価格審査点※
		設計及び建設に係 る対価(円) (消費税抜き)	維持管理及び運営に 係る対価(円) (消費税抜き)	
株式会社 パティネレジャー	400点	2,123,800,000		400点
		2,123,800,000	0	

※価格審査点=配点×(最低入札金額/入札金額)

(4) 総合評価結果

加点審査点と価格審査点を加算して、図表 9 のとおり総合評価点を算出しました。

図表 9 総合評価結果

入札参加者 (代表企業名)	加点審査点	価格審査点	総合評価点
	a	b	a+b
株式会社 パティネレジャー	320.0 点	400.0 点	720.0 点

第5 財政負担額の削減率

本事業を、市が直接実施する場合と DBO 方式で落札者が実施する場合の事業期間を通じたコストを比較した結果、現在価値換算して 16.4%の財政負担額の削減が見込まれることとなりました。

なお、平成 24 年 4 月 13 日付け「(仮称)新潟市アイスアリーナ整備・運営事業 特定事業の選定」において算定した財政負担額の削減率は、16.0%でした。

詳細は、図表 10 のとおりです。

図表 10 財政負担額の削減率

項目	市が 直接実施する場合	落札者が 実施する場合	(参考：特定事業 選定時の削減率)
財政負担額 (千円)	2,363,997	1,975,643	
財政負担削減額 (千円)	—	388,354	
財政負担削減率	—	16.4%	16.0%

(注) ①上記金額は、割引率を 2.61%として現在価値換算した金額です。

②「落札者が実施する場合」の金額は、落札金額を基に起債金利、市のモニタリング費用、市税収入等を考慮しています。

第6 総評

この度1つのグループより入札書類の提出を受けましたが、施設整備面と維持管理・運営面の双方において、本事業の要求水準を上回り、民間事業者ならではの創意工夫が盛り込まれた提案内容となっていました。選定委員会として、当該グループの提案内容を評価し、入札書類作成にあたっての努力に対して深く感謝申し上げます。

選定委員会は、落札者決定基準に基づいて厳正かつ公正に審査を行い、株式会社パティネレジャーを代表企業とするパティネレジャーグループを落札者として決定しました。

同グループは、加点審査では、以下の評価項目で高い評価を受け、加点審査点は600点中320点の評価を得ました。

事業全般に関する事項	②地域経済への貢献 ③独自の提案
施設整備に関する事項	②-1 施設配置及び動線計画 ②-2 良質なアイスリンクの確保 ②-3 施設全体の機能性確保 ③-3 再生可能エネルギーの活用
施設の運営に関する事項	②-2 教室及び学校の校外活動等 ⑤送迎バス運行

しかしながら、同グループは加点審査における以下の項目では、高い評価を得ることができませんでした。

施設の運営に関する事項	④広報、誘致
事業計画に関する事項	①想定人数・施設利用料金に対する考え方 ②事業計画の安定性 ④リスクへの対応性

また、提案内容全体について、事業者及び市に対して以下のような要望がありました。

- ・ 事業者提案について、維持管理・運営方法の効率化の視点は評価されるが、人による対応の重要性を再考慮の上、利用者の視点に立ったより効果的な対応を検討してほしい。
- ・ 市は、施設運営や事業計画等に関して積極的に事業者と協力して、施設の目的の達成に努めてほしい。

選定委員会として、パティネレジャーグループに対して、入札書類及びヒアリングで示した内容の誠実な履行にとどまらず、新潟市の施設として初となるアイスアリーナの整備・運営事業である本事業をより適正且つ円滑に実施するために、高い評価を得ることができなかった項目について真摯に受け止め、より良い施設整備及び維持管理・運営に自発的に取り組むことを望みます。

以上